

岩手県技術士会 部会活動報告

活動名	2010 技術講演会 「土木遺産と近代化遺産の活用に関して」 (CPD 番号 22-14)
主催	岩手県技術士会
日時	平成 22 年 10 月 8 日 (金) 14:00 ~17:00
場所	エスポワールいわて
参加人数等	33 人(本部会員:14 名、岩手県技術士会会員:10 名、技術士外:9 名)

活動内容

岩手県内やその他地域の土木遺産と近代化遺産の紹介と決定された理由などの説明と共に、新旧土木構造物の価値や建築の意義に関して再認識する機会とした。講演者は、以下の通りである。

東北の土木遺産を巡る 後藤 光亀 氏(東北大学大学院 准教授)
盛岡の近代化遺産 渡辺 敏男 氏(日本建築家協会 岩手地域会長)

後藤先生は、土木学会選奨土木遺産の認定制度、東北の選奨土木遺産とその選定理由、宮城県の土木遺産の保全と活用(特に野蒜築港関連事業に関して)、東北の土木遺産の紹介などのご講演であった。

渡辺先生は、県士会会員や市民になじみの深い盛岡市内の建造物についての紹介と共に、町並みや建造物の明治→大正→昭和→現時点の変化の様子をご講演頂いた。

いずれのご講演も、写真が満載で非常に解りやすく現実感を持たせたご講演であった。

また、講演終了後は講師のお二人と参加者で懇親会を行い、穏やかな雰囲気の中で、新旧土木構造物の価値や建築の意義に係わる意見交換を行った。



会場の雰囲気

<黒墨秀行記>

岩手県技術士会 部会活動報告



後藤先生のご講演



渡辺先生のご講演